

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-4 障がい者の自立支援
---------	----------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	障がい福祉課長 友井 泰範	電話番号	0852-22-6256
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	子ども発達支援事業		
目的	(1) 対象	障がいのある（疑われる）児童	
	(2) 意図	適切な療育等を提供することにより健やかな発達と成長を支援する。	
事業概要	○発達障がい児・者に対する相談、療育、就労支援等について、市町村を中心とした地域体制を整備するため、県は、発達障害者支援センター等を通じた支援などを行う。 ○障がい受容が進んでいないため、法定給付に結びついていない障がい児等に対する専門的な相談や療育指導、保育所等への療育技術の指導を行う。 ○在宅重症心身障がい児・者が安心して地域で生活できるよう、支援体制を整備する。 ○特別支援学校に通う児童・生徒の放課後等預かり事業を実施する。 ○心の問題を抱える子どもが、身近な地域で早期に専門的治療等が受けられるよう、関係機関の連携体制を構築する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	発達障害者支援センターによる保育士等研修等実施回数	目標値	24.0	30.0	36.0	36.0	回
	式・定義	保育士等職員（幼稚園、認定こども園を含む）を対象とした、発達障がいの理解と支援に関する研修を実施した回数	実績値	15.0	10.0			
			達成率	-	41.7	-	-	%
2	指標名	発達障害者支援センターによる保育所等への個別支援回数	目標値	130.0	140.0	150.0	150.0	回
	式・定義	保育所や幼稚園等職員に対して、相談や支援を行った回数	実績値	113.0	148.0			
			達成率	-	113.9	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	207,944	222,446
うち一般財源 (千円)	172,671	171,790

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○県から事業を委託している発達障害者支援センターにおいて、地域支援マネジャーを中心に地域における支援体制整備を図るため、関係機関への支援の充実を図っている。

	H25	H26	H27	H28
関係機関への助言	231件	→ 214件	→ 212件	→ 324件
関係機関との調整会議	200件	→ 258件	→ 235件	→ 235件

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

○県内2カ所の発達障害者支援センターが企画する研修会への参加者数は年々増加しており、身近な地域において、支援者の発達障がいに対する理解が進みつつある。  
 ○県内7圏域全てにおいて、子どもの心の診療に係るネットワーク会議を組織し、子どもの心の健康相談が実施されるようになった。拠点病院と圏域の連携の強化が図られ、事例をとおして圏域内の関係者の連携とスキルアップを図る体制が整備されつつある。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
 ○発達障がいへの関心が高まり、様々な年齢や場面で発達障がいに気付かれることが増えているが、専門医療機関での初診まで数ヶ月待ち、遠方の医療機関に通わなければならないといった実情がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
 ○発達障がいについて診断や診療ができる医療機関が少なく、県東部に偏在している。
- ③原因を解消するための「課題」  
 ○各地域に発達障がいの診療ができる医療機関を増やす必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○特定の専門的な医療機関だけでなく、身近な地域で診療を行う「かかりつけ医」等が発達障がいについて理解を深め、相談や診療、専門医への紹介を行ってもらうため、現在、子どもの心の診療ネットワーク事業で行っている医師向けの研修の充実を図る。